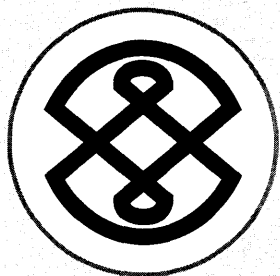


文化遺産のまち岩倉



■岩倉市

I W A K U R A

岩倉市は、濃尾平野のほぼ中央にあり、東西3.9km、南北4.9km、総面積10.49km²、人口4万8千人で、昭和46年に市制を施行しました。

岩倉では、尾張平野の弥生式文化を明らかにしていく上で非常に重要な遺跡である大地遺跡（愛知県指定史跡）を始めとする多くの遺跡や大地式土器（愛知県指定文化財）など多くの土器が発見され、古代から人々が生活していたと考えられます。史跡公園などで、こうした岩倉の歴史を学ぶことができます。



江戸時代には名古屋から犬山に延びる岩倉街道を中心に、尾張北部地方の交通の要所として多くの人や物が行き交い、「市（いち）」も開かれており、交通と産業の中心地であったと考えられます。中心部の町には古くから3台の山車があり、今も春の桜まつりと夏の宵まつりには、街道を練り歩き市民を和ませています。

戦国時代の武士が持った旗指物などを作っていた「のぼり屋」は400年の歴史を誇り、今でも伝統的な手法で「こいのぼり」を作っています。

近年は宅地化が進み、農地が年々減少してきているものの、依然として市内面積の3分の1は農地であり、カリフラワーなどの野菜を生産しています。

岩倉市には、市内のほぼ中心部を7.6kmにわたって流れる五条川があり、その両岸には、約1,600本のソメイヨシノが桜並木を形成し、平成2年に「日本のさくら名所100選」にも選ばれています。4月上旬の桜まつりには、市民を始め県内外の多くの人が訪れています。



また、五条川に沿って東海自然歩道の支線である尾北自然歩道が整備され、早朝から夜遅くまで、ウォーキングやジョギングを楽しむ多くの市民で賑わっています。

11月に行われる「いわくら市民ふれ愛まつり」には、戦国の武将山内一豊公をしのび「一豊行列」が行われ、一豊公や千代様、岩倉城主織田伊勢守が馬や輿に乗って市内をパレードします。

岩倉市ホームページアドレス <http://www.city.iwakura.aichi.jp/>